



子ども

やっさもっさ

新聞 第16号

文化を 未来へ 大和町

大草神楽子ども研究クラブ 豪雨被害乗り越えた公演に感動の輪

大草神楽子ども研究クラブは、1978(昭和53)年に大和町(現三原市大和町)の大草小学校(現在、大和小学校に統合)の児童によって結成されました。「地域に伝わる伝統の神楽を守り、未来につないでいこう」との思いで活動されています。豪雨被害を受けた子どもたちの活動を応援したいという思いで取材させていただきました。



9月15日、大和認定こども園(三原市大和町下徳良)を会場に、大草神楽子ども研究クラブの公演が行われました。

同クラブは西日本豪雨災害によって神楽で使う大きな大蛇や音響機器など様々な道具が水害を受け、神楽を続けることが難しくなるほどの大きな被害を受けましたが、多くの人の協力で本番当日を迎えました。この日の演目は、「御神儀」(祭典に振りをつけたようなもの)、「八重垣」(スサノオノミコトが、八岐大蛇を退治してアメノムラクモノツルギを手に入れるという神話)の演目で、集まった園児や保護者の方を感動させ、拍手に包まれました。



6年生の花岡愛生君は、「道具がない中の練習で大変だったけど、良い本番ができて良かった。今後も思いを込めて神楽を舞い、楽しんでもらえるように頑張ります」と今日の公演ができた達成感と今後の目標を笑顔で話してくれました。



大草神楽子ども研究クラブさんの活動は多くの人に勇気や希望を与えてくれます。少しでも興味を持って活動を支えたいという方は同クラブ指導者の金川頭二郎氏(電話0848-62-5818 賀羅加波神社)までお問い合わせ下さい。

11月30・4日

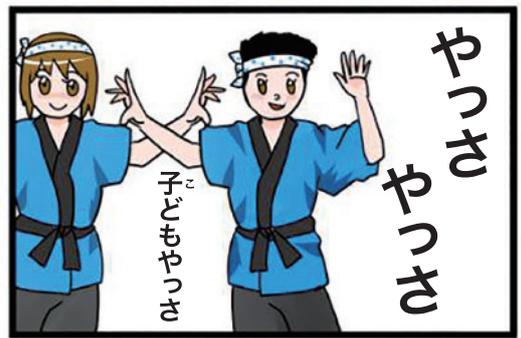


三原市非公認キャラクター 第6回 かつかけくん

【作】怪人ふくふく

第43回 三原やっさ祭り開催

8月から延期していましたが三原やっさ祭りが11月3日(土)4日(日)に開かれます。今回は「復興祈願祭〜がんばろう!三原〜」をテーマに、第15回三原浮城まつり、三原臨空商工まつり2018と一緒に、3つの祭りが同時に開催されます。3日(土)には「がんばろう!三原復興花火大会」で二尺玉の打ち上げ、4日(日)のやっさ踊りには、NHK-Eテレのダンスキッズが糸崎小学校と共に参加します。三原小学校、南小学校、沼田東小学校からも踊りチームが参加予定。みんなで応援しましょう。豪雨災害からの復興祈願を目的としているので、一人でも多くの人にご来場いただき、三原のまちを元気にしていきたいと思えます。三原青年会議所も開催に向けて頑張ります。皆さんもぜひ会場に遊びに来て下さい。



みはらニュース 秋といえは?

秋と聞くと…食欲の秋?読書の秋?スポーツの秋?

いろいろありますが、紅葉狩りに行ったことはありますか?

紅葉を見て楽しむ習慣は奈良時代に始まったといわれ、「万葉集」にも登場しています。平安時代には貴族の間で広まり、紅葉を愛でる宴の様子が「源氏物語」にも描かれています。江戸時代には庶民も楽しむようになり、季節の行事として定着していきました。

では紅葉を見て楽しむことを「紅葉狩り」というのはなぜでしょうか?「狩り」は動物を捕まえることですが、「いちご狩り」「ぶどう狩り」のように花や果物を探し求めるといった意味もあります。

さあ~今年の秋はこの知識を持ってみんなで紅葉狩りに一緒に出かけみてね。三原の絶好の紅葉狩りスポットも教えてください!!

次号は 第43回三原やっさ祭り ほか お楽しみに!

保護者のみなさまへ

ご存知ですか「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳~40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。

三原青年会議所

やっさもさチャンネル

絶賛放送中

毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】

一般社団法人 三原青年会議所

TEL 0848-63-3515

FAX 0848-62-1141

info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1

三原商工会議所2階

三原青年会議所

検索